



ピアノ伴奏者紹介サイト 開設 www.piano.or.jp

ピアノの世界がさらに広がる ~ソロからアンサンブルへ~

社団法人全日本ピアノ指導者協会(略称ピティナ)では、12/19より、インターネット上で「ピティナ・ピアノ伴奏者紹介」サイトの運営を開始した。

「ピティナ・ピアノ伴奏者紹介」サイトでは、伴奏経験のあるアンサンブル・ピアニスト(ピティナ会員)が情報を登録・公開する。サイトには経歴・実績・費用などの詳細情報も掲載し、伴奏依頼者は、サイトに掲載されている情報から、自身の要望に合った伴奏者を探し依頼することができる

このサイトの開設により、従来は知人間の紹介・伝手が多かった伴奏依頼を、よりオープンに行うことで、アンサンブル・ピアニストの活動領域を広げることを目指している。

「伴奏者紹介」サイト <http://www.piano.or.jp/teacher/banso/index.html>

担当 = 渡邊・石川 広報担当 = 黒木

--ブログ:ピティナ専務理事(福田成康)日記より ⇒ <http://www.piano.or.jp/blog/sr/> --

○「伴奏」→「共演」

今日は、ピティナ伴奏者紹介の担当者と「伴奏」という言葉について議論しました。

たとえば、ヴァイオリンとピアノが音楽上対等なデュオ曲でも、ヴァイオリン奏者が、ピアノと一緒にではなく、一人で音楽を構築しようとするところがあるようです。ピアノ伴奏者が、お金をもらって仕事をする以上、クライアントである共演者に合わせて当然という考え方もありますが、それでは曲本来の良さを引き出せません。

ピティナでは、分かりやすさを重視して「ピアノ伴奏者」という単語を使用しましたが、英語でいうCollaborative Pianist(共同制作するピアニスト)と同等の日本語を作り、定着させることができれば、意識も変わると思います。

<ピティナ/社団法人全日本ピアノ指導者協会とは>

1966年故福田靖子により創立。ピアノ指導者の資質向上、ピアノを通じた文化の振興をめざす。現在、会員約11,000人、支部・連絡所・ステーション全国300ヶ所を超える組織。2006年度に創立40周年を迎えた。

ピティナ・ピアノコンペティション(2006年実績:参加者数延べ38,045人/組、開催地区277箇所)、ピアノステップ(2006年度実績:参加者数延べ31,118組、開催地区332箇所)、ピアノセミナー、インターネットによる先生紹介・音源配信・ピアノ曲辞典・楽譜配信など活動中。



社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

〒170-8458 東京都豊島区巢鴨1-15-1 宮田ビル3F

TEL 03-3944-1583 FAX 03-3944-8838

URL: <http://www.piano.or.jp>

広報担当:黒木真紀子 makiko@piano.or.jp